

第 3 回神戸市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

【開催日時】 平成28年12月13日（火）13:00～15:00

【開催場所】 三宮研修センター 5階505会議室

【出席者】 委員29名（欠席8名）

【議事（主な意見交換の内容）】 以下のとおり

○委員

- ・道路交通法が改定され、自動車を運転することができない高齢者は今後ますます増えていくため、移動手段を確保することが非常に重要である。高齢者の移動手段の確保も論点に入れて頂きたい。

○委員

- ・「施策2 西北神地域の基幹公共交通の維持」の「まちづくりとの連携」について、計画の期間は前半で終わるものではないので実施期間を伸ばすべきである。

○委員

- ・バスのわかりやすい路線図が必要である。特に、乗り継ぎがわかりやすい路線図があれば、市バスでは乗り継ぎ割引があるので、利用促進につながると思う。

○委員

- ・総トリップ数の減少が避けられない中で、公共交通の分担率の目標値はどのような意図で設定しているのか。
- ・例えば、都心のイメージパスなどにファミリーや子供の絵が多いが、実際には高齢者数が全体の4割となる中で、どのように利便性の高い交通をつくっていかなければならないのか考えないといけない。

○委員

- ・若い人が車を持たなくなっている。ベビーカー利用者のバリアフリーに対するニーズも増えており、これからの子育て世代が車を持たなくても生活できるようにしていく必要がある。

○委員

- ・「第5章計画の推進」について、目標3の数値目標「地域コミュニティ交通導入の支援地区数」が28地区となっているが、支援する地域が決まっているように見える。

○委員

- ・高齢者の免許返納に伴う取り組みとして、タクシーの利用券の配布はできないのか。

○委員

- ・「施策4 北神地域の再編実施計画」について、バス路線の再編がメインになるが、バス路線だけではなく、再編実施計画は鉄道なども含めた公共交通ネットワーク全体であることが分かるように記載するべきである。

○委員

- ・パブリックコメントの際、この計画で自分の生活がどう良くなるのかが市民の方に伝わるよう、特に見て欲しいところをわかるように工夫してはどうか。

○委員

- ・「3.2. 公共交通ネットワークの将来像」に都心・ウォーターフロントと記載があるが、施策1の都心の内容では触れられていない。ウォーターフロントについても、「施策1 都心での「人と公共交通中心の賑わいあるまちづくり」の推進と広域結節機能の向上」に記載して頂きたい。

○委員

- ・都心としてどれぐらいの範囲を想定しているか分からないが、LRT・BRTについては、輸送力をふまえると、外から人を引っ張ってくるためのものでは。提案されている交通手段が都心内を回遊するためか、それとも外から都心に人を運ぶことで都心に来た人が歩きやすくなることを想定しているのか整理が必要である。

○委員

- ・用語解説について、「企画乗車券」と「LRT」の内容を再考した方がいい。
 - ・「第3章公共交通ネットワークの将来像」の目標や将来像の文章が結論だけになっている。公共交通を大切にしていくことで市が元気になるというイメージが湧くように枕詞を工夫するべきである。効率的・効果的な公共交通ネットワークだけでなく、「使いやすい」や「選択可能性」などを記載し、公共交通網だけでなく、まちが便利になっていくような表現とした方がいい。また、震災やレジリエンスの言葉も入れることを検討してはどうか。
 - ・「第5章計画の推進」について、数値目標のユニバーサルデザインの推進が「鉄道車両の車内・車外案内表示の多言語化」となっており、特定の交通事業者のみの指標となっている。
- 委員
- ・市民の関心が高い健康について、計画では触れられていない。公共交通で出歩くことで健康につながるということもある。